

1月24日～30日は

『全国学校給食週間』です

～藤市と全国の学校給食の歴史をたどろう～

明治22年に山形県の忠愛小学校で学校給食が始まってから134年が経ちました。戦争によって中止されながらも、様々な歴史をたどり、現在まで続いています。

『全国学校給食週間』には、昔の給食を振りかえる献立が登場します。家庭でも「思い出の給食」「懐かしい給食」について、お話してみてもはいかがでしょうか？



学校給食の歴史

○…全国のできごと
★…藤市のできごと

明治二十二年

○山形県の私立忠愛小学校で生活が苦しい家庭の子供たちに給食を提供し始める。

昭和十五年

★第一藤小学校（現在の北小学校）で、石田パン菓子店の石田秀夫さんの協力のもと、**全国で初めて学校給食でパンが提供される。**

昭和二十二年

○戦争が終わり、一時中止していた給食が再開される。

★PTAの協力により、北小・東小でミルクなどの補食給食が再開される。
※ミルク：脱脂粉乳のこと。牛乳から脂肪分を取り除いて粉にし、お湯などで溶いたもの。

昭和二十九年

○学校給食法により、学校給食の提供内容が決められる。

★北小・西小・東小・中央小・南小でパン・ミルク・おかずのそろった完全給食が始まる。

昭和四十年

○脱脂粉乳から牛乳へと切りかわる。

★中学校三校で牛乳のみの給食が始まる。

昭和四十三年

★第二中学校の東となり旧学校給食センターが完成する。

昭和四十四年

★単独校方式からセンター方式へ変わる。

昭和五十五年

★中学校でも完全給食が始まる。

昭和五十九年

★ごはん給食が始まる。

平成十四年

★現在の学校給食センターが完成する。

平成十七年

★栄養士による食の指導が始まる。
○食育基本法が定められる。

今では様々な料理が給食で味わえるようになりました。食べられることに感謝していただきましょう！



昔の給食を再現した献立が出ます

～明治22年の給食～

30日

- ・鮭の塩焼き
- ・すいとん



～昭和25年頃の給食～

25日

- ・コッペパン
- ・シチュー



～昭和40年頃の給食～

29日

- ・ソフトめん
- ・ミートソース

